

# シアトルだより May 2016 Vol.2



みなさんこんにちは。今回は学校について紹介します。勤務している高校は、カミアック高校といい、シアトル市近郊のマカティオ市という小さな町にあります。落ち着いた住宅地という感じです。マカティオには高校が2つだけあって、行く高校は住所によって決まります。高校は1年から4年まであり、日本でいうと中3から高3の年代になります。

カミアック高校はとても大きく、全校生徒が2000人くらいで、先生も100人以上います。職員室がなく、先生は自分の教室にずっといるので、出会うことが少なく、顔と名前を覚えるのが大変です。

授業は、英語や数学、歴史、科学、体育などで、科目の内容は基本的に日本と大きく変わらないのですが、大きな違いは、時間割が毎日一緒ということです。一日6時間ですから、週6つの科目を5日間毎日やるということになります。日によって変わらないので間違

わないでいいです。外国語など反復が必要な教科には効率的と言えます。



カリキュラムは柔軟で、基本的にできることを伸ばすということに重きを置いているように思います。必修教科は決まっていますが、科目はそれぞれです。例えば理科は最低2年間が必修なのですが、同じ理科でも、化学Iと化学IIの生徒もいれば、総合理科と生物Iの生徒も

います。それぞれの興味関心や、学習到達状況に応じて履修するので、化学IからIIIにとぶこともあります。全員が4年間必修なのは英語ぐらいのようです。

日本語の授業では、通常教科書に応じた活動をやっていますが、時期に合わせたことも紹介しています。5月の初めには、新聞でかぶとを折りました。5月末には、サミットに合わせて伊勢志摩の紹介をしたり、オバマ大統領の広



島訪問に合わせて原爆の学習をしたりしました。被爆者の説明や、なぜ大統領が広島を訪問したのか、被爆者の方はどう受け止めているのかなどをディスカッションしました。ちょうど日本を訪問するプログラムで伊勢志摩と広島に行く生徒がたくさんいたこともあって、興味深かったようです。日本に対する理解が深まることをたくさんやっていきたいと思っています。